

次期計画において取り組むことが想定される施策例（案）①

学力向上検証サイクルの確立

「大阪市小学校学力経年調査」

<今後の取組>

○目的

- ・児童及び保護者が、自身及び子どもの学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- ・児童一人一人の学習理解度及び学習状況等を客観的・経年的に把握・分析し、学校における授業改善や子ども一人一人に応じたきめ細かな指導の充実等を図り、組織的かつ継続的な学力向上検証改善サイクルを確立する。
- ・幼小中高における学びの連続性を確保する観点から義務教育段階で身につけておかなければならない力を確実に定着できるようにする。
- ・児童の学習理解度及び学習状況等を把握し、各学校の課題に応じた教育施策の充実を図る。

○調査対象 小学校3・4・5・6学年

○調査内容 教科に関する調査(国語・社会・算数・理科)、学習・生活状況等に関する調査

○調査実施期間 平成29年1月中旬(予定)

幼児教育の質の向上

幼児教育の充実

<これまでの取組>

- ・25年度:「幼児教育の改革のための基本的な考え方」を取りまとめ、幼保合同研究協議会を設置し、幼稚園・保育所で活用できる「就学前教育カリキュラム(案)」の編成を進めた。
- ・26年度:引き続き幼保合同研究協議会を開催し、カリキュラム(案)に関する説明会や研修会を複数回実施。モデル園所を中心に市立幼稚園、公立保育所において、カリキュラム(案)の試行検証を行い、「就学前教育カリキュラム」を策定した。
- ・27年度:「就学前教育カリキュラム概要版」を作成し、カリキュラムに関する研修会を実施。さらに保護者向け説明会を複数回実施した。

<今後の取組>

- 道徳心・社会性、知性や体力の基礎を担う重要な時期である幼児期に、質の高い教育を行うべきであることから、「就学前教育カリキュラム」を市内の幼稚園・保育所等に周知するとともに、25年9月に取りまとめた「幼児教育の改革のための基本的な考え方」に基づき、「幼児教育センター」の設置を検討し、幼児教育の質の向上のための機能を強化する。